

# ハローマイフレンド

HELLO, MY FRIEND



この夏、  
僕らは映画の中よりも  
ドラマチックだった。

清瀬市市制55周年映画『ハローマイフレンド』は、市民の協力を得て完成した青春物語。本ページでは制作の歩みと関わった人々の思いを紹介します。

日常の風景を舞台にした  
清瀬発の青春ストーリー

清瀬市は、市制施行55周年を記念し、青春映画「ぼくらのレシピ図鑑シリーズ」第4弾となる映画『ハローマイフレンド』を制作しました。本作は、清瀬金山緑地公園、清瀬駅南口商店街「ふれあいどろり」など、市内各所をロケ地として撮影し、地元の風景が物語の舞台として描かれています。監督は数々の映画やドラマを手がけてきた市井昌秀氏。高校のSF映画部員たちが凶悪なエイリアンと出会った青春時間をユーモラスに描きます。

高校生キャストは、681人が参加したオーディションから9人を選出。主演の蒼井旬さんをはじめ、若手俳優が出演するほか、清瀬市出身の釈由美子さんも参加し、作品に厚みを加えています。

制作はすでに完了しており、10月8日に開催された完成披露試写会では来場者から好評を得ました。清瀬のまちと人々の協力によって生まれた、記念すべき一本です。

©映画24区

## 出演者が語る きよせの魅力



村上陽向 役  
山岡樹

初めて訪れた際、空気がとても澄んでいると感じました。撮影では、綺麗な森や川といった自然、地元愛あふれる市民の皆さまが集う商店街など、清瀬の温かさを全身で体感することができました。清瀬金山緑地公園が一番のお気に入りスポットです！



本倉 颯 役  
蒼井旬

僕は清瀬での撮影中に十八歳になりました。仲間と映画を作っているうちに、いつのまにか大人と呼ばれる年齢になっていました。これからの人生の希望をくれた清瀬は、今ではもう、僕の第二の故郷です。

映画に参加した出演者の皆さんに、撮影を通して感じた清瀬市の魅力を伺いました。まちで過ごした時間から生まれた、ささやかな発見や印象をご紹介します。



ボンシャン 役  
ケンゾウ・マルティニ

ハローマイ清瀬！清瀬市で過ごした時間は忘れられない思い出です。人の温かさや、食を通じて感じるコミュニティの魅力が大好きです。キャストのみんなと行った「みゆき食堂」の夜は、今でも心に残っています。



本倉仁美(颯の母) 役  
釈由美子

清瀬が舞台なので、すぐに情景が浮かんでくる。離れてみると、のんびりとした街の風景が懐かしく恋しくて。おおらかで、人に対する優しさは変わらない。それが清瀬の誇りだと思います。



田中若水 役  
村山暁

清瀬の「食」は特に印象に残っています。劇中にも登場する人参やトウモロコシ、そして撮影期間中にみんなですべて食べていたきよせ棒！どれも最高に美味しかったです！

## INFORMATION

### 映画情報

『ハローマイフレンド』  
企画：清瀬市シティプロモーション課／キネマ旬報企画  
製作：映画24区

前売り券 1,500円

購入 ●ムビチケ ●シティプロモーション課窓口  
(清瀬市役所3F 20番窓口)

※前売り券・公式パンフレットはこの他、各種イベント等で販売予定です。

### 劇場公開日

先行公開 ユナイテッド・シネマ新座 ▶ 2026年2月20日～  
全国順次公開 新宿K's cinema ▶ 2026年3月14日～  
※上映劇場は随時更新します。

公式パンフレット 1,000円

購入 シティプロモーション課窓口  
(清瀬市役所3F 20番窓口)

詳しい映画情報は  
こちら！



## INTERVIEW

### 監督インタビュー



市井昌秀

1976年富山県生まれ。  
国内外で受賞歴を重ねる  
実力派映画監督。

全シーンを清瀬で撮影するのだから、私も清瀬市民の一員になろうと撮影の2ヶ月前から竹丘二丁目に住み始めました。  
東京であることを忘れてしまいそうな清瀬金山緑地公園の大自然、南口の昔ながらの商店街、壮観な団地の群れ。そんな風景をフレームに収めたいと映画作りがスタートしましたが、映画が出来上がった今、最も印象に残っているのは、そこに住む人たち、つまり清瀬市民の方々の顔です。  
主人公の家として自宅を貸して下さったご家族。面倒な相談に何度も乗って下さった母娘。3世代に渡る老舗食堂のご家族。劇中に登場するTシャツを作ってくれた方。ダンスシーンに参加して下さいました皆さん。挙げればキリがありません。  
私はいつか清瀬を離れざるをえませんが、一緒に映画を作ってくれた市民の皆さまとの交流が私の宝です。